

広告



1,108人のランナーと、412人のボランティアスタッフが参加した「第35回石狩サーモンマラソン大会」。なお、今年の最高齢ランナーは、5kmの部に出場した82歳の男性でした。

今年で
12回目の参加となった
ゲストランナーの増田明美さん
も大会を大いに盛り上げて
くださいました！

→来月11月号では増田明美さん
の特別インタビューを
ご紹介します。
お楽しみに！



スポーツ

Sports

ランナーたちがまちを駆け抜ける日 石狩サーモンマラソン大会

昭

和55年に「石狩町民マラソン」として、33人のランナーから始まった「石狩サーモンマラソン大会」は、昭和61年に現在の名称となり、今では参加者が千人を超える大会へと成長しています。

はじめは花川南斜め防風林が舞台だったコースも、参加者の増加に伴い、石狩河口橋を渡るコース、新港地区の青葉公園周辺を走るコースへと変遷をたどり、平成13年から現在の花川北・南地区の市街地を駆け抜けるコースになりました。

現コースは直線が長く平坦なため、初心者の方にも楽しみながら参加してもらえるのが特徴です。加えて小・中学校の駅伝大会と一緒に進むため、沿道からたくさんの方の応援を背に走ることができるのが魅力となっています。

35回目の今年は9月6日(日)に開催。よく晴れた秋空にスタートの号砲が鳴り響くと、ランナーたちがさつそうと市役所前を駆け出していきました。記録に挑む人、一緒に手をつないで走る親子、おそろいのウェアに身を包んだ職場の仲間など、そこには思い思いのマラソンを楽しむ姿がありました。

あなたもぜひ来年、この「石狩サーモンマラソン大会」に参加して、気持ちのよい汗を流してみませんか？ 3km、5km、そして10kmの完走を目指し、一緒にまちを駆け抜けましょう！

